館報５０号までの歩み　～館報から読み取る吉田の歩み～

50th memorial number

紙面構成の移り変わりや印象的な出来事など、写真とコメント付きで紹介します。

平成6年　第1号

広丘地区より吉田地区として分区し初代公民館長として太田茂実さん着任

栄えある第1号（H6・11・30発行）年2回発行。当時は白黒印刷4ページでした。

平成7年　第2号

第2代公民館長として赤羽保さん着任

平成12年　第10号・第11号

吉田地区センター開館

吉田地区センター開館記念として第11号は、従来の白黒印刷ではなく、特別にカラー印刷でした。

平成13年　第14号

第14号（H13・9・15発行）以降白黒印刷ではなく、カラー印刷となりました。この年には地区センターにパソコンが設置されました。（現在はありません）

平成14年　第16号

第16号（H14・9・15発行）表紙では国道19号の拡幅工事の様子が掲載されました。この頃人口増加により、吉田地区では8，000人を超えました。

平成15年　第19号

第3代公民館長として中澤日出夫さん着任

第19号（H16・3・15発行）では分区されてから行った吉田地区大運動会が第10回となり、記念に撮影した人文字が表紙を飾っています。

平成17年　第22号・第27号　第28号・第29号

このころ吉田の道路等の工事が行われ、地区内の風景が変わってきました。えびの子道路の拡幅、堰西えびの子通線開通、四ケ堰改修、上田川橋改修は館報の表紙を飾りました。

29号

28号

27号

22号

平成21年　第30号・第31号

第30号（H21・9・15発行）では表紙のレイアウトが変更されました。みなさんに読みやすいよう検討されたものです。

この年は、毎年行われている吉田地区文化祭がインフルエンザ流行で中止になり、区民のみなさんの要望により、急遽2月に吉田地区センターで吉田地区芸術祭が開催されました。

平成22年　第32号

第4代公民館長として市川啓一さん着任

第32号（H22・9・15発行）では昭和56年に吉田若宮地籍で発見された大量の古銭について掲載されました。

平成23年　第34号・第36号

平成23年から25年にかけて吉田にまつわる古文書の解説や吉田の歴史について掲載をしました。

平成25年　第38号・第40号

第38号（H25・6・15発行）以降年3回の発行となりました。

平成28年　第47号

第5代公民館長（現公民館長）として赤津政義さん着任

第40号（H26・3・15発行）では平成26年4月1日に開館した吉田西防災コミュニティセンターについて掲載しました。

第47号（H28・6・15発行）ではみなさんが読みやすいよう紙面をリニューアルしました。また表紙には「公民館ってなに？」というテーマで公民館について解説があります。

平成２８年から館報よしだの他に吉田公民館のフェイスブックも運用を開始しました。より講座のお知らせやタイムリーに募集をかけることになりました。

平成29年6月
創刊50号達成

どんな記事を掲載してるの？

- 公民館の行事や講座の紹介
- 各分館活動の紹介
- よしだっこのつぶやき
- 明日をかけるホープ
- 図書館吉田分館や吉田地区内他団体の活動紹介など

掲載しています。また他にも地域のニュースや地域の歴史について等の記事も掲載しています。

紙面構成はどうなっているの？

○表紙
公民館に関わる行事や事業についてひとつピックアップして、写真とイラストを交えて紹介

○2ページ
公民館行事や事業の紹介
新年度最初の号は役員紹介　等

○3ページ
よしだっこのつぶやき
明日をかけるホープ　等

○4ページ
公民館・分館の活動紹介
編集後記等

※おおむねこのような構成ですが、その都度「特集」を入れたり、紙面構成を変更することもあります。
ご意見やご感想がありましたら、吉田公民館までお願いします。

地域のみなさんのおかげを持ちまして、今回「50号」という節目を迎えることができました。今後も地域の情報をわかりやすく、また親しみやすい館報となるよう努力して参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。